

特許紹介

ガントチャート生成プログラム，ガントチャート生成装置，および，ガントチャート生成方法（各関係部門進捗のシャドウ表示による並行作業を支援）

- 登録番号等：特許第 6626327 号，登録日 2019/12/06，出願番号 2015-235299，出願日 2015/12/2
- 発明者：(株)日立ソリューションズ東日本 庄子 真海 他
- 特許を適用した製品やソリューション：SynViz S2
- 概要：複数の部門で協力して作業を並行で行う場合に，所定の日までに個々の成果を共有することがある。従来は，各部門のどのオブジェクトがどの節目に関連するのかわかりにくく，各部門で把握することが困難であった。本発明は，節目をシャドウとして設定し，各部門の特定のオブジェクトと節目のシャドウとを関連付ける関連線を生成するものである。これにより，各部門は，他の部門のどのオブジェクトが節目に関連しているかを即座に把握することができるため，オブジェクトの日程変更があった場合，日程変更に応じた調整をどの部門と協議すればよいかを容易に特定することができる。

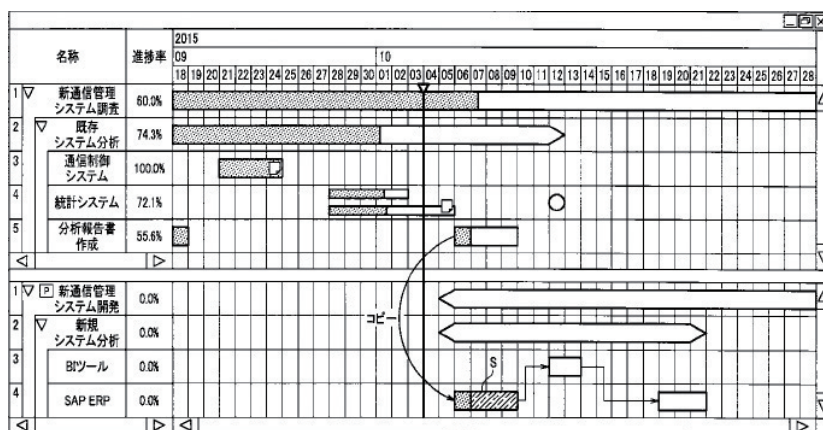


図 1 ガントチャート表示例

S: シャドウ

農作物の正常株率推定装置，農作物の収穫量予測装置および農作物の正常株率推定方法（正常株率を説明変数とする収穫情報の予測）

- 登録番号等：特許第 6639300 号，登録日 2020/01/07，出願番号 2016-060887，出願日 2016/3/24
- 発明者：(株)日立ソリューションズ東日本 飯塚 新司
- 特許を適用した製品やソリューション：検討中（実施部門募集中）
- 概要：欠株による収穫量の減少を早期に予測し，農作物の収穫量を高精度で予測することが望まれている。本発明は正常株率推定部で推定した正常株率を説明変数として収穫量の予測を行うものである。よって，欠株による収穫量の減少を考慮した予測ができ，高い精度で収穫量を予測することができる。また，正常株率推定においては，クラスタリングによる教師なし学習を使用して正常株率を推定することができるため，分類モデルを学習するために教師データを用意する必要がない。

生産計画改善支援システム（改善シナリオの適用判断を支援）

- 登録番号等：特許第 6647934 号，登録日 2020/01/17，出願番号 2016-062387，出願日 2016/3/25
- 発明者：(株)日立ソリューションズ東日本 伊藤 俊明
- 特許を適用した製品やソリューション：検討中（実施部門募集中）
- 概要：生産計画の精度改善を目的とするシステムである。本発明は，過去から現在までの所定の期間の生産指標値と，将来の生産見込みに基づく現在から将来までの所定の期間の生産指標値（シミュレーション値）とを比較し評価するものである。その評価結果に基づき，改善シナリオを適用すべきかどうか，いずれの改善シナリオが適切かどうかを，ユーザに通知することができる。そのため生産計画を精度良く改善できる。

情報管理装置および情報管理方法 (利用データの適正利用を支援)

- 登録番号等: 特許第 6690993 号, 登録日 2020/04/13, 出願番号 2016-100059, 出願日 2016/5/19
- 発明者: (株)日立ソリューションズ東日本 樋地 正浩 他
- 特許を適用した製品やソリューション: 検討中 (実施部門募集中)
- 概要: データの利用上の制限を課しつつ, データの利用の自由も残すデータ管理技術を提供する。本発明は利用許諾情報 DB を検索し, アプリケーション ID の一覧を取得し, アプリケーション ID の一覧内のもののみである場合は適正利用と判断するものである。アプリケーション ID の一覧内のもののみでなかった場合には不正利用と判断する。第 1 に利用許諾条件に沿っているか否か, 第 2 にデータの利用が法制度により許可されているか国等における利用であるか否かの判定に基づいて, アプリケーションの利用したデータが適正に利用されているかを監査者が確認することができる。また, 不正利用の場合には, 不正利用の内容等を知らせることができる。

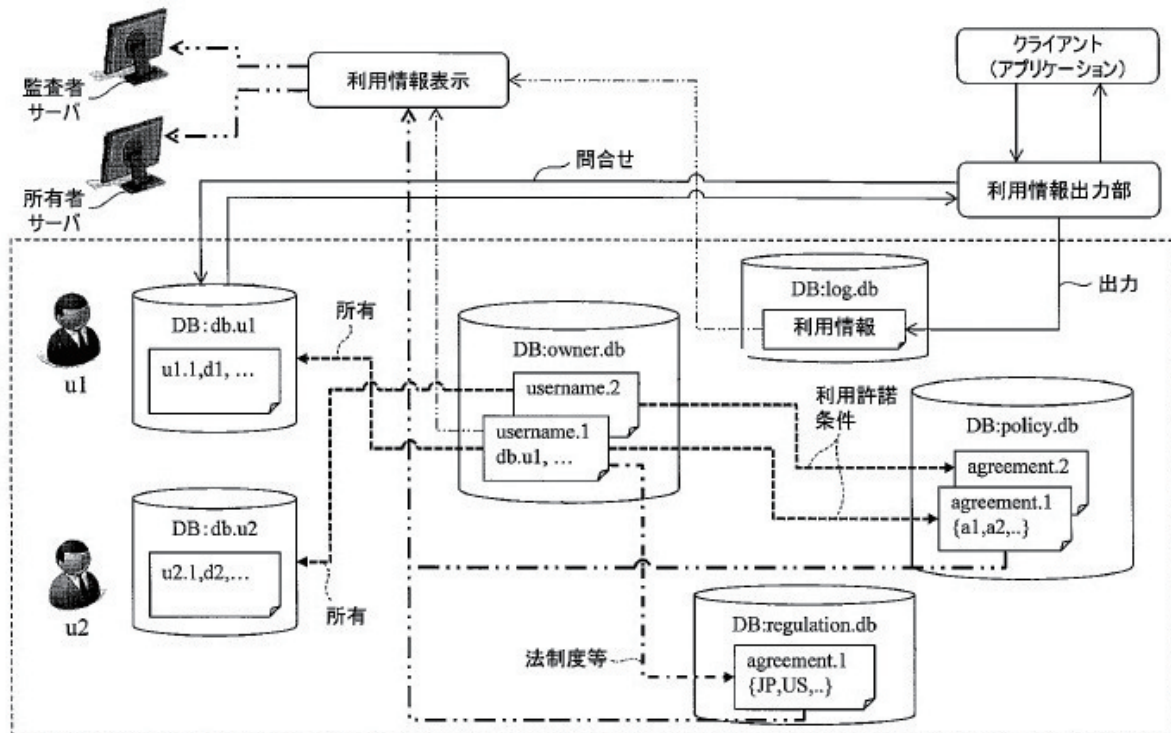


図 2 情報管理装置の構成図

設計支援システムおよび設計支援方法 (設計書間の用語のゆれを防止)

- 登録番号等: 特許第 6832236 号, 登録日 2021/02/03, 出願番号 2017-100972, 出願日 2017/5/22
- 発明者: (株)日立ソリューションズ東日本 高梨 勝敏 他
- 特許を適用した製品やソリューション: 検討中 (実施部門募集中)
- 概要: 設計作業のゆれ (2 通り以上の書き方をされることにより表記にばらつきが生じること) の発生を防止する。設計書と要求仕様書ファイルを構成する各要素を抽出して前記要素管理サーバが管理する要素データベース内に格納する。設計作業において同時出現する要素の組を取得し, 要素の組を要素間対応データベースに格納の要求に応じて, 対応関係にある要素の組, 要素のネットワーク構造のうち少なくともいずれか一方を前記業務クライアント端末の画面に表示する。利用者は, 正しい設計作業の支援を受けることができる。また, 過去の作業・同種作業と整合性があるように設計作業を修正できる。複数の設計者の作業においても整合性を良くすることができる。